

平成 29 年度第 1 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 29 年 5 月 30 日火曜日 14 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 9 名	民生委員児童委員長 1 名、民生委員児童委員 1 名、地域代表 1 名、 ボランティア団体 1 名、家族代表 1 名、役場介護班 1 名、事務局 3 名
<p>◎再任、新任委員に委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長選出 民生委員児童委員長 ・新委員、各委員、事務局職員の自己紹介 <p>◎議 題</p> <p>1、利用状況について</p> <p>別紙資料にて、28 年度分の利用状況と、今年度 4 月分の実績について説明する。利用者の介護度は要介護 1 や 2 が一番多い。登録人数は 4 月に入り要介護 1、要介護 4 の利用者が各 1 名ずつ施設長期入所となり 26 名となった。他、提供回数や訪問内容、活動内容については資料の通りだが、泊まりに関しては定員いっぱいの日が多く、泊まりたいが泊まれない人が出てきている。特に金曜～日曜の利用頻度が多く、2 ヶ月前からも予約が入るようになった。</p> <p>Q、介護者（家族）が急に体調が悪くなり、要介護者（利用者）を看られない場合、定員いっぱいでは泊まれないなど、緊急時の利用ができない時は不安になる。どうにかならないものか？</p> <p>A、役場→定員いっぱいの際、受け入れたとして、事故があった場合を考えると対応が難しいのでは？ 定員と緊急性についての対応について調べてみる。</p> <p>A、ほっと→受け入れたい気持ちはあるが上記の通り。また、代わりの対応としては通い時間を延長し、夕食を提供後、就寝時間に帰宅してもらう等の利用方法で提供して行く事を検討している。</p> <p>2、その他</p> <p>Q、最近寒暖差が大きく、利用者の脱水や熱中症は大丈夫か？</p> <p>A、高齢になるとなかなか自分で、温度管理が難しくなってくる。利用時は水分補給や空調管理に気をつけているが、家に帰った時も自宅での過ごし方を考えてもらわないといけない。隠れ脱水もあり、去年は 1 件あったので気をつけて対応していきたい。</p> <p>Q、塩分管理について</p> <p>A、常時の食事では特に管理はしていないが、水分補給の面では気を付けている。汗をかくと塩分が抜けやすくなるので、ポカリスエット等で補給したりしている。</p> <p>★ 役場介護班より利用定員について回答有→「特に必要と認められる場合は、一時的に利用定員を超えることはやむを得ないものとする。」 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準参照</p>	

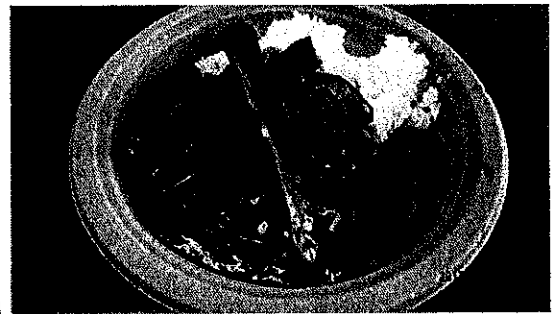
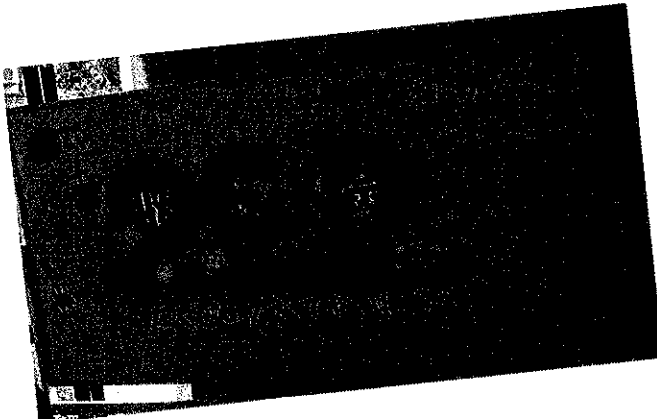
平成 29 年度第 2 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 29 年 7 月 26 日 水曜日 14 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 9 名	民生委員児童委員 1 名、地域代表 1 名、ボランティア団体 1 名、 家族代表 1 名、役場介護班 1 名、役場地域包括支援センター 1 名、 事務局 3 名
<p>◎議 題</p> <p>1、利用状況について</p> <p>別紙資料にて、5 月～7 月の利用状況と実績について説明する。登録人数は 4 月に利用者が 2 名施設長期入所となり 25 名となったが、7 月に 1 名、8 月に 1 名（予定）が新規登録となる為、合計 27 名となる予定。他、提供回数や訪問内容、活動内容については資料の通りだが、泊まりに関しては増加しており、連休があると定員いっぱいになるのが早い。泊まりの利用者 1 名に関しては、現在介護者入院の為、土曜日のみ帰宅し常時泊まり利用している状態。</p> <p>Q、活動内容は他施設と同じような内容か？人気がある活動は何か？</p> <p>A、活動内容はだいたい同じだと思うが、ほっとの場合畑がある為収穫祭が秋にある。次回の運営推進会議では収穫したものを振舞いたいと思っている。また、人気がある活動はカラオケ。</p> <p>2、その他</p> <p>Q、前回の質問→介護者（家族）が急に体調が悪くなり、要介護者（利用者）を看られない場合、定員いっぱい泊まれないなど、緊急時の利用ができない時は不安になる。どうにかならないものか？</p> <p>A、役場介護班より利用定員について回答有→特に必要と認められる場合は、一時的に利用定員を超えることはやむを得ないものとするが、常習化する場合は指導の対象となるので、認められないため注意してほしい。</p> <p>Q、他の家族は上記内容を知っているのか？</p> <p>A、今まで上記状態の利用者がなかったが、もし緊急で問い合わせがあった場合はきちんと説明して対応していきたい。</p> <p>★工事関係で道路が変更になったり、片側通行になったりしている為、送迎時の運転には充分気を付けるようご指導をいただく。</p>	

平成 29 年度第 3 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 29 年 9 月 12 日 火曜日 12 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 9 名	民生委員児童委員長 1 名 民生委員児童委員 1 名、地域代表 1 名、ボランティア団体 1 名、事務局 3 名

「ほっと おおつち」収穫祭 ～ 利用者、利用者家族、地域住民との交流会



朝は大雨のため、開催が心配されましたが、昼までには空模様も回復し、お天気がよくなり安心しました。今年の収穫された野菜は、ジャガイモ、ナス、南瓜、トマト、枝豆、とうもろこしでした。採れた野菜をふんだんに使った野菜カレーと豚汁などを、みなさんでいただきました。食後には世間話に花が咲いて楽しい地域交流になりました。

参加人数は職員を含めると 40 名となり、地域の皆さんの中には、震災後に柁内地区に自宅再建し、初めて参加したという方もおりました。「これからもいろいろな行事を楽しみにしています」との声が聞かれました。



地域の皆さん

平成 29 年度第 4 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 24 日 金曜日 14 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 10 名	民生委員児童委員会長 1 名、民生委員児童委員 1 名、地域代表 1 名、 ボランティア団体 1 名、家族代表 1 名、役場介護班 1 名、 役場地域包括支援センター 1 名、事務局 3 名
<p>◎議 題</p> <p>1、利用状況について</p> <p>別紙資料にて、4 月～10 月の利用状況と実績について説明する。登録人数は 10 月に 29 人定員いっぱいになったが、他施設に 1 名入所が決まり、現在は 28 名。しかしすでに 1 名新規登録者が決定しており、新規登録者の都合上まだ契約には至っていないが、登録人数は 29 名定員いっぱいとなる予定。介護度は要介護 2 が多く、平均しても要介護 2.2～2.3 の為介護報酬はほぼ変わり無し。泊まりに関しては要介護の方の利用のみで要支援者はこれまでも利用はない。他、提供回数や訪問内容、活動内容については資料の通りであり、ボランティア等による慰問の際は地域へ声掛け等も行っている。</p> <p>2、外部評価について</p> <p>外部評価の説明を行う。事業所自己評価を実施しまとめたものを配付し、それを参考に「外部評価地域かわりシート①」「外部評価地域かわりシート②（結果まとめ様式）」を次回開催（1 月）までに作成し持参していただく。評価は無記名。</p> <p>3、その他</p> <p>Q、ほっとおおつちの看板について。（以前の質問より）</p> <p>A、県道入口へ 1 つ、電柱へ 2 つ設置予定だが、工事の関係で設置には至っていない。</p> <p>Q、台風や大雨の際の避難所はどこになるのか？</p> <p>A、（ほっと おおつち）城山体育館へ避難となる。大槌学園は近いが行くまでの道路が浸水する為、災時は大ケ口を通り城山へ向かうこととなる。また、大雨等による浸水や土砂災害を想定した避難訓練を実施したが、実際大雨等の際の避難は大変且つ危険な為、対応としては「避難準備情報」の段階でほっとおおつちは閉所とする。利用者は家族へ連絡し帰宅させ、連絡がつかない利用者に関しては連絡がつくまで一緒に城山の避難所へ避難する形としている。また、津波の場合はほっとおおつちを動かさず待機となる。</p> <p>A、（柵内地区代表）柵内地区は全部で 9 班あるが、昨年より大雨等による災時は 1 班→千田精密へ、2～9 班は岩盤浴 GORORIN へ避難するとしている。</p> <p>Q、スプリンクラー設置について</p> <p>A、設置済。実際始動したことはないが、定期的に業者が点検している。</p>	

平成 29 年度第 5 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 30 年 1 月 29 日 月曜日 14 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 9 名	民生委員児童委員会長 1 名、民生委員児童委員 1 名、地域代表 1 名、 ボランティア団体 1 名、役場介護班 1 名、役場地域包括支援センター 1 名、 事務局 3 名

◎議 題

1、利用状況について

別紙資料にて、4 月～12 月の利用状況と実績について説明する。登録人数は現在 28 名。1 名新規登録者が決定しており、退院後契約になる為、登録人数は 29 名定員いっぱいとなる予定。また 4 名程待機者がある。他、提供回数や訪問内容、活動内容については資料の通りであり、ボランティア等による慰問の際は地域へ声掛け等も行っており、前回の報告と変わり無し。

2、外部評価について

外部評価の意見等評価。前回配布し作成後持参していただいた「外部評価地域かかわりシート①」「外部評価地域かかわりシート②（結果まとめ様式）」について各項目ごとの検討を実施した。

※別紙参照

3、その他

Q、連日ニュースで不審者侵入や利用者間トラブルについて報道されているが、「ほっと おおつち」ではそのようなことはないのか。また、対策をしているのか。

A、不審者に関しては、以前近隣の男性が自転車でトイレを借りに来るといったことが続き、不気味さもあった。夜間などは特に職員が一人の為、夜間のトイレ貸し出しはしないという貼り紙にて対応し、それから来なくなった経緯がある。その際は警察と連携等はしていないが、近隣でも不審者の情報があり警察が巡回しているとのこと。今の段階では何も無いが、職員にも周知し今後も気を付けて行きたい。利用者間トラブルは今のところない。

Q、災害公営住宅の前の通りが凍って危険。住民に水を撒いたりしない様に（自治会長より）注意をした。その後は水を撒いたりしなくなったが、最近気温も低い日が続いている為、送迎には十分注意をしたほうが良い。

A、意見、ご指摘ありがとうございます。

平成 29 年度第 6 回ほっと おおつち運営推進会議報告書

開催日時	平成 30 年 3 月 27 日 火曜日 14 時～
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 9 名	民生委員児童委員会長 1 名、民生委員児童委員 1 名、地域代表 1 名、 ボランティア団体 1 名、役場介護班 1 名、利用者家族代表 1 名、 事務局 2 名

◎議 題

1、利用状況について

別紙資料にて、利用状況と実績について説明する。3 月はまだ集計前なので 2 月までの報告となる。登録人数は 29 名定員いっぱいだが、現在 1 名退院したばかりでまだ利用しておらず、実績利用は 28 名。また、利用待機者が 3 名いる状態。泊まりはほぼ毎日 3～5 人いる。他、提供回数や訪問内容、活動内容については資料の通りであり、ボランティア等による慰問の際は地域へ声掛け等も行っており、前回の報告と変わり無し。

年度末の為、事故、急変状況について報告する。6 月に急変にて救急搬送あり。9 月と 10 月に車両事故あり。

Q.その際利用者に怪我等なかったのか。

A.利用者を降ろした後だったので怪我はなかった。もしあれば、別の対応や事故報告書等必要。運転は普段から気を付けており、自信のない人には利用者を乗せた運転はさせていない。

Q.危険な場所等の共有は職員間でできているのか。

A.ミーティングで共有している。大きな車両が通れない箇所や、天候による道路状態まで危険箇所は職員間で共有している。

ほっと おおつち前の県道をスピードを出し走行している車が多いので巻き込まれないよう、また、自転車で追いかけてきてあおったりする「当たりや」がいるので、送迎時刺激しないよう気を付けるよう意見をいただく。(3/27 夕方のミーティングで共有する。)

2、その他

- ・不審者騒ぎに関し質問を受けたが、現在は不審者騒ぎはない。
- ・柵内地区町内会の草刈りについて 6 月の予定。泥上げは 4/1 (日) にあるが、ほっと おおつちでは 4/1 までに夕方の時間等を活用し実施する予定。
- ・4/27 (金) おそばのお振舞があるので、近所の方々もよければご参加ください。

平成 29 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会	代表者	徳田 信也	法人・事業所の 特徴	・前事業所は東日本大震災で全壊流失したため、現事業所は津波到達の心配のない地域にあり安心な利用ができています。災害時には地域のみならずの一時避難所としても活用できるよ う備蓄品も整備してあります。 ・地域にも民家が増えてきており、皆さんの集会所的な役割も果たしてきています。 ・職員一同、可能な限り利用者様個々のニーズに対応ができています。
事業所名	ほっと おおつち	管理者	千葉 万知子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	9人
項目	前回の改善計画に対する取り組み・結果									
A. 事業所自己評価の確認	前回の改善計画 ・一般むけの文書等については、専門用語は使用せず、わかりやすい表現にします。 ・新職員も含めて職員紹介の掲示物を貼りだします。									
B. 事業所のしつらえ・環境	前回の改善計画 ・看板の作成は同法人のワークフロートのおおつちに依頼しています。現在の看板は他の場所に移動する予定で、今後は、設置場所の許可を取る予定です。									
C. 事業所と地域のかかわり	前回の改善計画 ・地域の草刈り日や泥上げ等の作業開始時間に合わせて、職員もできる限り参加するように調整します。 ・28年度同様に、事業所の行事情報を地域の回覧板に掲載したいと思えます。また、ブログ等に活動内容を発信する機会を増やしていきます。 ・地域に公園等もなく、散策に誘っても出たがらない傾向にあります。住宅も増えてきているので、公園等が早く整備されることを期待しています。									
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	前回の改善計画 ・利用者の様子がわかるように、施設内で運営推進会議を行い、レクの様子など見てもうらうことができた。 ・セコムでの防犯設備に加えて、周囲に緊急を知らせる非常灯を2か所設置した。設置後、地域の役員の方々に趣旨を説明し協力をお願いをした。 ・火災に際しては、スプリンクラー設置をした。									
E. 運営推進会議を活かした取組み	前回の改善計画 ・運営推進会議を通して、地域活動での役割や、どのような協力が必要かなど、意見交換をしていきたいと思えます。 ・非常用ブラッシュを2ヶ所に設置します。 ・夜間の非常時には、地域の皆さんにも協力していただけるように、集会等で説明し、周知してまいります。									
F. 事業所の防災・災害対策	前回の改善計画 ・町内会、自治体の避難について、役場では水が溜まり移動できない場所があるのは把握しているが、そうなる前に避難準備情報を出しているため、避難準備情報段階で危機管理をもって避難をしてほしい。									
意見	前回の改善計画 ・事業所は細部にわたって真剣に取り組んでいると思う。 ・職員の人事異動等が何度かあり、誰がほととの職員なのか分かりづらい。 ・看板については了承した。 ・近隣道路が犬のフン等に悩まされている。町内会の世帯数も増えママナーが悪くなってきている。 ・左記内容は地域住民に理解を得ているのか。→了承を得ている。 ・近々、水路の整備が始まると思う。 ・混んでいる時の初詣にわざわざ連れて行く必要はあるのか。→正月は泊まりのみの利用者の為、希望者のみを混まない時間帯に連れていった。 ・お祭りは道路に出て見えていたが、本道路を通らなくなった。 ・地域の集会所の建設が来年度より始まる。公園は検討中。 ・運営推進会議の場所は狭いが利用者の様子が確認できて良いのでこの状態で継続してほしい。 ・町内会、自治体の避難について、役場では水が溜まり移動できない場所があるのは把握しているが、そうなる前に避難準備情報を出しているため、避難準備情報段階で危機管理をもって避難をしてほしい。									
今回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・名札は配布しているが、介護する上で凶器になる可能性がある為、業務時は付けていない。外部の人が職員と利用者の区別がつくように杜協の制服着用をできるように心がける。 ・杜協職員も通る道なので、気がついたらフンやゴミを拾う等環境整備をするようにする。 ・地域住民の理解を得て、今まで通り前日までに周辺の草刈りや泥上げ等の作業を終了するようにする。 ・イベントやボランティア来所の際、地域住民がたたくさん集まって来てくれたので、今後もイベントやボランティア来所があつたら回覧を廻していきたい。 ・二か月に一回運営推進会議を実施しているため今後その都度意見を出してもらい改善していきたい。 ・防犯設備の設置や整備、災害対策や計画を立てたり改善してきた。また、台風の際は避難準備情報段階で避難するようになっているが、何があるか分からないので気を引き締めていきたい。 									